

石井 正 氏  
(いしい ただし)

【略歴】

特許庁の審判・審査を長く経験し、さらにペーパーレス計画、あるいは三極特許協力事業を推進するなど、特許庁の政策の推進に関わってきました。審査部長、審査官、特許技監の後、大阪工業大学の知的財産学部の創設に努力し、さらに知的財産専門職大学院の創設に関わってきました。

1943年 東京に生まれる。  
1962年 東京工業大学付属高校卒業  
1968年 中央大学理工学部電気工学科卒業  
1968年 特許庁入庁 審査第2部応用物理  
1976年 米国インディアナ州立バーデュー大学大学院留学  
1986年 機械化企画室長  
1991年 特許情報企画課長  
1994年 審査第2部首席審査長  
1995年 審査第2部長  
1998年 審査部長  
1999年 特許技監  
2001年 特許庁退官  
2001年 (社)日本国際知的財産保護協会理事長  
2003年 大阪工業大学知的財産学部 学部長・教授  
2005年 大阪工業大学 知的財産専門職大学院 研究科長・教授

【著書・論文等】

2007年 「ザイの人」三五館  
2005年 「知的財産の歴史と現代」発明協会  
2003年 「電子政府と知的財産」経済産業調査会  
1982年 「近代日本の技術と技術政策」国連大学発行・東京大学出版会発売  
1975年 「パテントマネジメント」発明協会  
その他多数

平成19年度  
中小・ベンチャー企業向け  
知的財産権セミナー

講師のプロフィール

株式会社島津製作所 知的財産部  
専門部長

開本 亮 氏  
(ひらきもと あきら)

【略歴】

昭和55年3月 京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻修士  
株式会社 日立製作所原子力事業部を経て、  
昭和57年7月(株)島津製作所に入社、航空機器事業部、中央研究所、基盤技術研究所等にて研究開発に従事し、  
平成15年10月 産業用X線検査機器のビジネスユニット統括部長  
平成19年10月 知的財産部専門部長、現在に至る。  
この間、  
平成6年1月 京都大学博士(工学)授与  
平成18年1月 日本弁理士会 弁理士登録  
平成18年2月 日本技術士会「原子力・放射線部門」技術士登録  
平成19年1月 日本弁理士会「特定侵害訴訟代理業務」付記登録  
平成19年2月 日本技術士会「総合技術監理部門」技術士登録  
現在、  
同志社大学 工学部 専門科目「知的財産権」非常勤講師  
放送大学 面接授業「社会・地域と知的財産」非常勤講師

【会社等の概要】

島津製作所は1875年の創業以来、人々の夢、社会の夢の実現をめざして、いつの時代も最先端技術の開発に挑戦し、さまざまなテクノロジー製品を多様な分野に提供してまいりました。そして、社は「科学技術で社会に貢献する」を掲げるとともに、経営理念として「人と地球の健康」への願いを実現することをめざしています。弊社は基盤事業である分析計測機器、医用機器、航空機器、産業機器事業をベースに、21世紀の成長分野であるライフサイエンス、環境、半導体・フラットパネルディスプレイの各分野において様々なソリューションを実現する製品・サービスを提供しています。(http://www.shimadzu.co.jp)

【講演内容】

弊社の経営方針と研究開発について述べ、その中で知的財産の成功例および失敗例の概略について、皆様に御参考になるであろう点をお話しし、加えて、京都という歴史環境の中で培われた弊社の強みを活かす研究開発のありかたや、それによって生み出された最新の装置についても言及したいと考えます。

中小・ベンチャー企業向け知的財産権セミナー 参加申込書

(社)発明協会徳島県支部 行 (FAX 088-636-3575)

平成 年 月 日

会社名

電話

— —

住所

FAX

— —

氏名	役職名	受講を希望する回数に○印をお付けください。
		・ 第1回目    · 第2回目    · 両方
		・ 第1回目    · 第2回目    · 両方
		・ 第1回目    · 第2回目    · 両方